

●生徒数及び学級編制

学年	ルーム	生徒数	小計	
通常	1年	1A	33	33
	2年	2A	21	21
	3年	3A	37	37
特別支援	自情	1B	2	4
		2B	2	
	知的	1C	3	6
		3B	3	
合計	男子55名、女子46名、計101名			

●日課表

	時間帯	備考
朝読書	8:30~8:40	
朝学活	8:40~8:45	
1~4校時	8:55~12:45	各50分授業 休憩10分
給食・昼休憩	12:45~13:35	昼読書
5~6校時	13:40~15:30	各50分授業 休憩10分
掃除	15:35~15:45	
午後学活	15:50~16:10	5校時の場合 15:10終了

●教職員

職名	名前	教科	主任・主事等	所属学年	部活動顧問
校長	妹尾 進一				
教頭	杉原 雅明				
兼事務長	高橋三保子		想青学園		
教諭	手申 美香	国語	進路指導主事、3学年主任 読書・図書館教育担当	3学年担当	ソフトテニス部女子
	割削 智子	社会	研究主任、1学年主任	1学年担当	バレーボール部
	細谷 映滋	数学	生徒指導担当	2年A組担任	ソフトテニス部男子
	佐藤 洋	数学	情報教育担当、ホームページ担当	1年A組担任	バレーボール部
	平 信二	理科	特別支援コーディネーター	1・2年B組担任	サッカー部
	坂田 真保	音楽	時間管理担当、情報教育担当	2学年担当	ソフトテニス部男子
	藤井 順也	保健	生徒指導主事、体力向上担当 中体連理事、生徒会担当	3年A組担任	野球部
	河野 光彦	技術	再任用短部職員事務、他校兼務	1学年担当	
	溝口 陽子	家庭	再任用短部職員事務、他校兼務	3学年担当	
	宮脇 典子	英語	道徳教育担当	1・3年C組担任	サッカー部
養護教諭	佐々田 綾	英語	教務主任、小中一貫教育推進 2学年主任、「学びの変革」推進担当	2学年担当	総合文化部
事務主幹	栗田 陽子		保健主事	2学年所属	
校務補助員	林 裕子				
介助員	高松真由美				

学校図書館補助員	中尾由美子	講師	拠点対面指導教員	岡田 紀雄
スクールカウンセラー	兼田 直美		教科指導員	平石 一夫
ALT	マリウ・グリッツ		美術	田村 稔

●教育全体構想

1 福山市小中一貫教育の目的

○福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

2 西部地区小中一貫教育のねらい

○西部地区の子どもを9年間育てる。

○知・徳・体のバランスの取れた社会で通用する子どもを育てる。

○義務教育9年間の子どもの成長を踏まえ、連続性のある教育展開をする。

○「主体的な学び」の授業づくりを推進し、指導内容・方法の工夫改善を図り、子どもたちに確かな学力を身につけさせる。

○自己肯定感を高めるため、「挨拶」「自己表現」を意識した取り組みを進める。

3 学校教育目標

○夢と志を持ち、社会に貢献できる生徒の育成

4 具体的な学校の姿

○生徒一人一人の主体性を大切にした学習指導で確かな学力が向上する学校

○生徒と先生が協力し、充実した体験活動や人間関係の中で豊かな人間性を育む学校

○個性や多様性を尊重し、いじめがなく、安心して健康的に過ごせる心身が育つ学校

○保護者や地域の期待に応える学校

5 育成する力(21世紀型「スキル&倫理観」)

○重点；生徒が主体的に自分の言葉で表現する場を設定する。

主体性	思考力・表現力・判断力	自己形成力
生活や社会をよりよくするため、様々な情報を多面的・多角的な見方で分析し、課題を適切な方法で解決している。	生活や社会をよりよくするための課題を見つけ、既習事項を活用して、自分の考えや意見を話す・書く等で表現している。	誰に対しても思いやりの心を持ち、より高い目標を達成するために、相手の立場や考えを尊重しながら、粘り強く取り組み、やり抜いている。

6 研究主題

○共に学び合い・深め合い・高め合う 一生徒も教職員も、一丸となって

7 学校経営目標

○『生徒が主役である学校』を創る

○課題に対して、自ら進んで考え、仲間と関わり合い、練り合いながら協働的に課題を解決していく、1人も残らず学びの授業づくりの推進

○主体的に読書活動に取り組む生徒の育成

○主体的にボランティア活動が行える生徒の育成

○主体的に環境づくりに取り組む生徒の育成(掃除・掲示物等)

8 校内運営組織図

